

令和8年度 児童生徒就学援助費支給認定申請書

以下をよく読んでいただき、太枠の中を記入してください。裏面もあります。

申請年月日 令和 年 月 日

河北町教育委員会 様

児童生徒就学援助費の支給を受けたいため申請します。

この申請に当たって、河北町教育委員会及び学校がこの申請に係る情報を共有することを承諾し、必要に応じて行う調査に協力するとともに、河北町教育委員会が課税台帳、住民基本台帳、児童扶養手当等の認定業務に必要な情報の取得もしくは調査することについて、下記記載の世帯を代表して同意します。

また、この申請が認定された場合、就学援助費の請求及び受領に関する全ての権限を学校長に委任し、学校への各種納入金に未納がある場合には、就学援助費を充当することを承諾します。

さらに、この申請が認定された場合、次のことがあります。

- ・地区の担当民生委員・児童委員から、認定の可否の照会があった場合、認定を受けた旨等の情報を開示すること。
- ・他市区町村に転出した場合、転出先から就学援助費の支給の有無の照会があった場合、支給の有無等の情報を提供すること。

（申請者） 保護者者	住 所	河北町		(アパート名)		地区名 ()
	フリガナ			シャチハタ不可	連絡先電話番号	
	氏 名			印	—	
児童生徒	学校名	学校		※令和8年度の学校・学年を記入してください。 ※小学生と中学生はそれぞれ申請書を記入してください。		
	フリガナ					
	氏 名					
新学年	年		年		年	
家族構成	※ 対象となる児童生徒も含めて、同居している家族全員を記入してください。 ※ 続柄は対象児童生徒を基準に記入してください。 ※ 年齢は令和8年4月1日現在の満年齢を記入してください。年度途中の申請の場合は、申請日現在の年齢を記入してください。					
	氏 名	続柄	生年月日	年齢	職業	勤務先（学校名）

就学援助を必要とする状況（家庭や収入の状況、手当等の受給の有無など、できるだけ正確に、詳しく記入してください）

※ここから下の項目は、あてはまるものに○をつけて、該当する場合は（ ）の中に記入してください。

養育費	養育費の受給	無	・	有	(月額	万円)
生活費	生活費等の援助	無	・	有	(月額	万円)
住宅の形態	1 自分の持家 2 家族等の持家 3 借家（契約者				家賃	円）

前年度の 状況	令和7年度は 就学援助を受けて いた ・ いない	
	【令和8年度の小学校1年生・中学校1年生のみ記入してください。】 河北町からの入学準備学用品費または他市町村からの同等の援助について 申請した ・ 申請していない ・ 受給した ・ 受給していない	
資格要件	1 生活保護を受けている。 保 護 決 定 日 (年 月 日)	添付していただく書類はありません。
	2 生活保護が停止又は廃止になった。 停止・廃止年月日 (年 月 日)	添付していただく書類はありません。
	3 町民税が非課税または減免されている。	添付していただく書類はありません。
	4 個人事業税が減免されている。	減免の通知の写しを添付してください。
	5 固定資産税が減免されている。	添付していただく書類はありません。
	6 国民年金の掛金が免除されている。	免除の通知の写しを添付してください。
	7 国民健康保険税が減免または徴収が猶予されている。 (軽減のことではありません。)	添付していただく書類はありません。
	8 児童扶養手当が支給されている。 (児童手当のことではありません。)	添付していただく書類はありません。
	9 生活福祉資金の貸付を受けている。	貸付決定通知の写しを添付してください。
	10 その他 ()	
※ 令和8年1月1日時点で河北町に住民票がなかった方は、令和8年1月1日時点で住民票があった市区町村から「令和8年度（令和7年分）課税・所得証明書」を取得し添付してください。（後日提出可）なお、「令和8年度（令和7年分）課税・所得証明書」は令和8年6月中旬頃から発行されます。		

口座振替依頼書

就学援助費の支給が認定した場合は、下記の預金口座に振り込みをお願いします。

記

金融機関名				支店名			
預 金 種 別		口座番号					
フ リ ガ ナ							
口座名義人 (保護者)							

※就学援助の申請者名義の口座に限ります。

※申請者の記入はここまでです。以下は記入しないでください。※申請内容が事実と相違しますと援助の対象となりません。

※審査に当たり、追加の書類提出をお願いする場合や、記載事項について河北町教育委員会が直接聞き取りを行う場合がありますので、ご了承ください。

学 校 記 入 欄	1 保護者及び児童生徒の様子（○をつけてください。） <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の職業が不安定である。 ・保護者の収入が不安定または低額である。 ・学校納付金等が滞りがちである。 ・経済的理由により児童生徒の欠席日数が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の昼食・被服等が著しく悪い。 ・児童生徒の学用品・通学用品等が不自由している。 ・学校納付金等が減免されている。 ・被災児童生徒である。
	2 その他、気づいた点を具体的に記入してください。	
	3 学校の意見（どちらかに○をつけてください。） ① 上記1及び2により、就学援助が必要です。 ② 上記1及び2により、就学援助が必要ではありません。	
	校 長 氏 名	